

V その他、個別の課題について

1. 市役所からの情報発信について

問27 市役所から発信される情報のうち、必要とする情報は十分に得られていますか。[SA]

市役所から発信される情報のうち、必要とする情報は十分に得られているかについては、「十分に得られている」、「おおむね得られている」の合計値は67.5%、「あまり得られていない」、「不十分である」の合計値は24.8%となっている。

前回調査に比べ、「十分に得られている」、「おおむね得られている」の合計値は8.9ポイント高く、「あまり得られていない」、「不十分である」の合計値は6.0ポイント低くなっている。

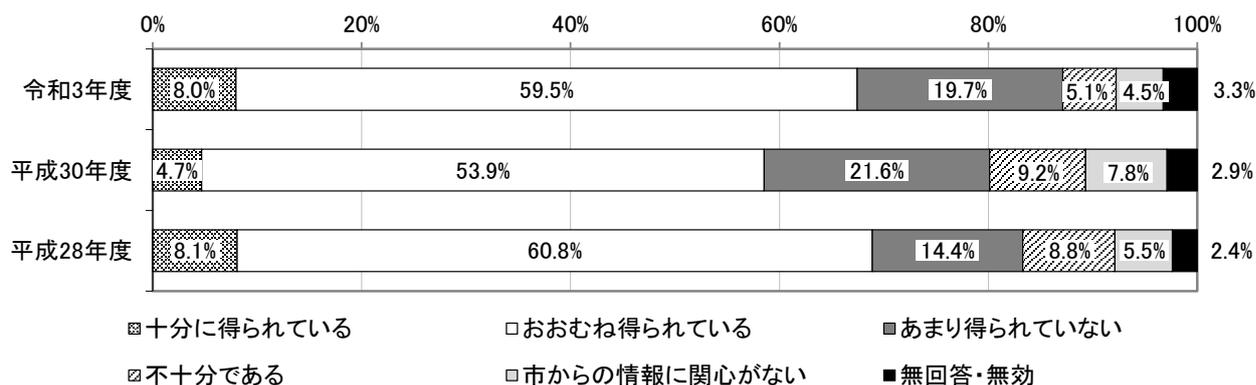
年齢別にみると、「十分に得られている」、「おおむね得られている」の合計値は、40歳～44歳(82.1%)、70歳代以上(74.6%)、65歳～69歳(72.6%)で7割を超えており、他の年齢層と比べ高くなっている。一方、18歳～34歳では、「市からの情報に関心がない」が1割を超えている。

居住地域別にみると、「あまり得られていない」、「不十分である」の合計値は、川原代小学校区(32.3%)、龍ヶ崎小学校区(31.6%)で3割を超えており、他の地区と比べ高くなっている。

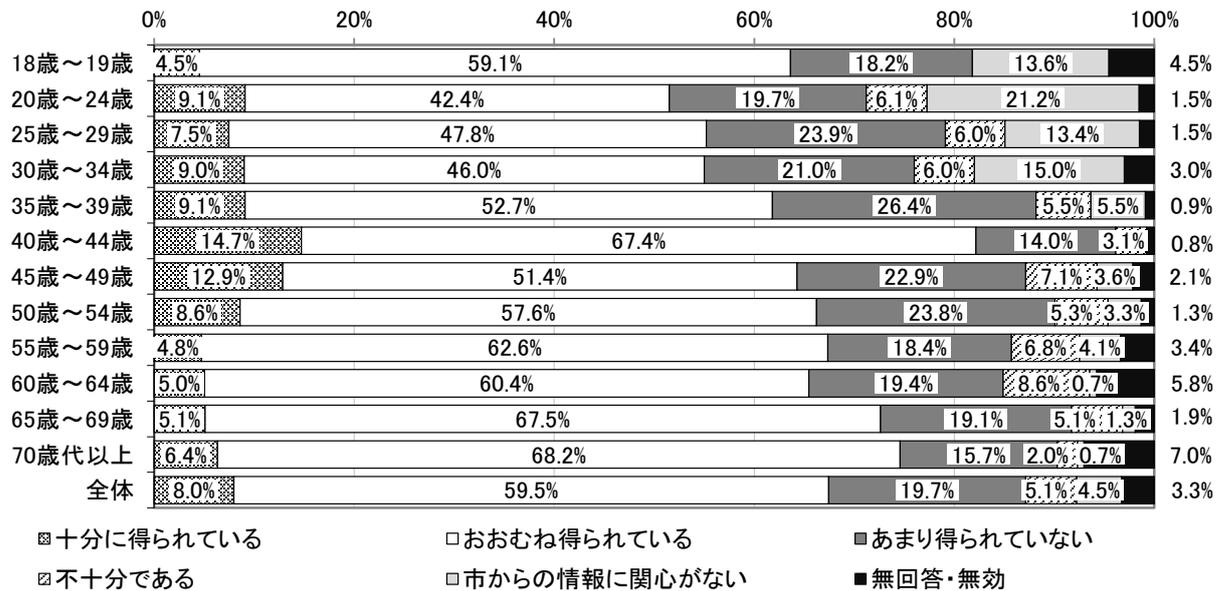
家族構成別にみると、「十分に得られている」、「おおむね得られている」の合計値は、就学前の乳幼児、小学生、中学生、高校生がいる家族で7割を超えており、他の家族構成と比べ高くなっている。

		票数	[今回] 令和3 年度	[前回] 平成30 年度	[前々回] 平成28 年度
1	十分に得られている	122	8.0%	4.7%	8.1%
2	おおむね得られている	910	59.5%	53.9%	60.8%
3	あまり得られていない	301	19.7%	21.6%	14.4%
4	不十分である	78	5.1%	9.2%	8.8%
5	市からの情報に関心がない	69	4.5%	7.8%	5.5%
	無回答・無効	50	3.3%	2.9%	2.4%
	合計	1,530	100.0%	100.1%	100.0%

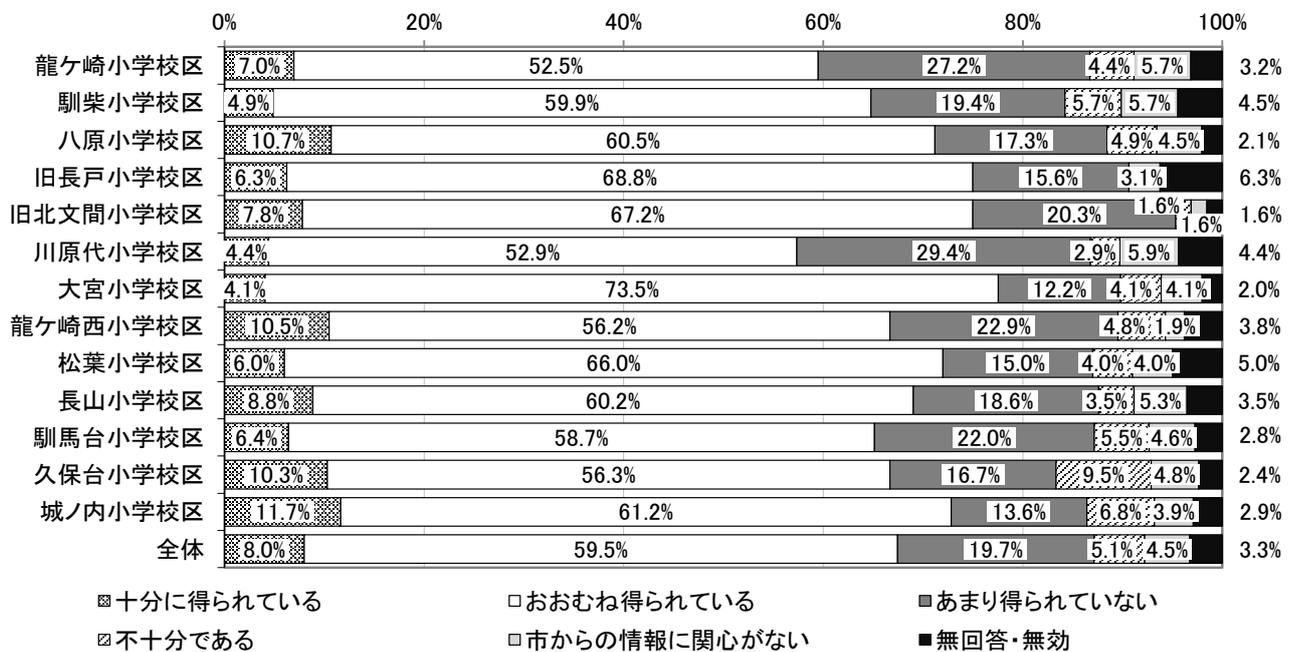
n= 1,530



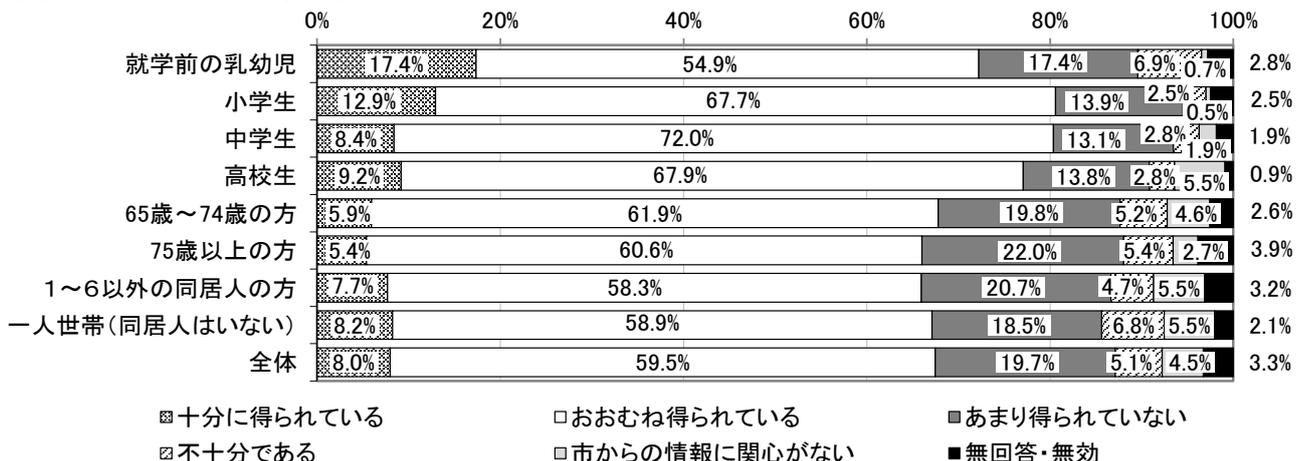
■年齢とのクロス集計結果



■居住地とのクロス集計結果



■家族構成とのクロス集計結果

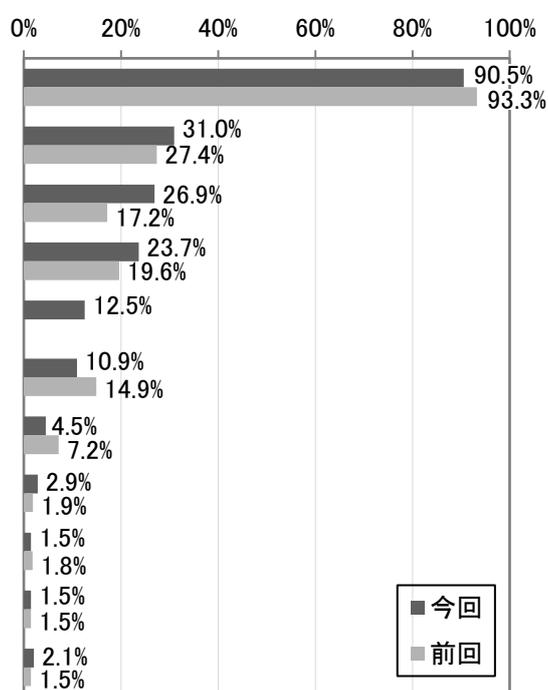


問28 市役所から発信される情報を得る主な手段は何ですか。【〇はいくつでも】 [MA]

市役所から発信される情報を得る主な手段については、「広報龍ヶ崎「りゅうほー」」が90.5%で最も高く、次いで「防災無線」が31.0%、「市公式ホームページ」が26.9%、「メール配信サービス」が23.7%の順となっている。
 年齢別にみると、全体で4位の「メール配信サービス」は、35歳～49歳で2位、30歳～34歳で3位に挙げられている。また、全体で8位の「市公式ツイッター」は、18歳～19歳で3位に挙げられている。
 居住地域別にみると、「メール配信サービス」は、八原小学校区、城ノ内小学校区で2位に挙げられている。

		票数	今回	前回
1	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	1,385	90.5%	93.3%
9	防災無線	474	31.0%	27.4%
3	市公式ホームページ	412	26.9%	17.2%
4	メール配信サービス	362	23.7%	19.6%
7	市公式LINE	192	12.5%	-
2	政策情報誌「未来(あす)へ」	167	10.9%	14.9%
8	コミュニティセンター等の掲示板	69	4.5%	7.2%
6	市公式ツイッター	44	2.9%	1.9%
5	市公式フェイスブック	23	1.5%	1.8%
10	その他	23	1.5%	1.5%
	無回答・無効	32	2.1%	1.5%
	合計	3,183	100.0%	

n= 1,530



● 10
 → その他の回答 ※記載あり

特になし・分からないなど[10]、アプリ(防災)[3]、家族・知人[2]、龍ヶ崎市議会だより[1]、広告[1]、手紙[1]、回覧板[1]、FMラジオ[1]、龍ヶ崎市民ガイドブック[1]

■年齢別・居住地域別の順位表

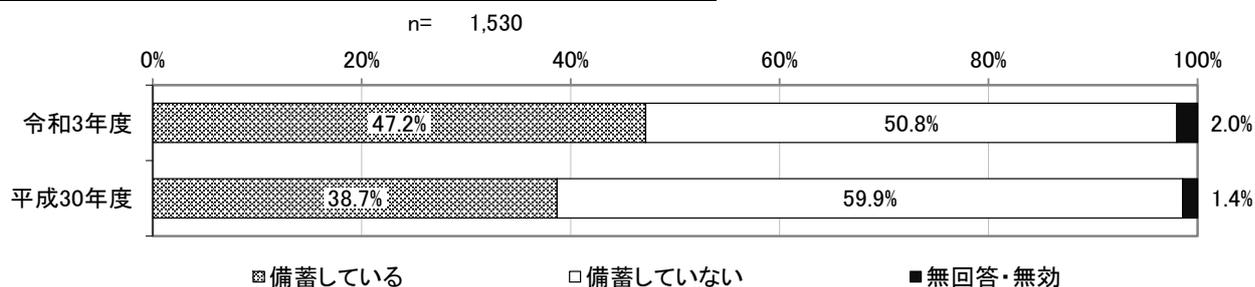
		1位		2位		3位	
年齢別	18歳～19歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	68.2%	市公式ホームページ	27.3%	市公式ツイッター	9.1%
	20歳～24歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	78.5%	防災無線	23.1%	市公式ホームページ	18.5%
	25歳～29歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	82.1%	市公式ホームページ	23.9%	防災無線	22.4%
	30歳～34歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	85.0%	市公式ホームページ	35.0%	メール配信サービス	25.0%
	35歳～39歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	87.3%	メール配信サービス	40.0%	市公式ホームページ	37.3%
	40歳～44歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	90.6%	メール配信サービス	57.0%	市公式ホームページ	36.7%
	45歳～49歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	89.3%	メール配信サービス	41.4%	市公式ホームページ	31.4%
	50歳～54歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	92.7%	防災無線	31.8%	市公式ホームページ	29.1%
	55歳～59歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	91.2%	防災無線	34.0%	市公式ホームページ	25.9%
	60歳～64歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	93.5%	防災無線	33.1%	市公式ホームページ	24.5%
	65歳～69歳	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	96.2%	防災無線	33.8%	市公式ホームページ	26.8%
	70歳代以上	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	95.0%	防災無線	38.9%	市公式ホームページ	17.4%
居住地域別	龍ヶ崎小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	89.7%	防災無線	31.7%	市公式ホームページ	20.7%
	馴染小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	90.0%	防災無線	32.3%	市公式ホームページ	23.6%
	八原小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	90.3%	メール配信サービス	35.4%	防災無線	30.0%
	旧長戸小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	90.6%	防災無線	46.9%	メール配信サービス	25.0%
	旧北文間小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	89.8%	防災無線	47.5%	市公式LINE	18.6%
	川原代小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	86.4%	防災無線	37.9%	市公式ホームページ	18.2%
	大宮小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	93.8%	防災無線	37.5%	市公式ホームページ	29.2%
	龍ヶ崎西小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	91.0%	防災無線	38.0%	市公式ホームページ メール配信サービス	25.0%
	松葉小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	94.0%	市公式ホームページ	40.0%	防災無線	26.0%
	長山小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	93.8%	防災無線	38.1%	市公式ホームページ	28.3%
	馴染馬台小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	88.9%	市公式ホームページ	34.3%	メール配信サービス	25.0%
	久保台小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	94.3%	市公式ホームページ	35.0%	メール配信サービス 防災無線	26.0%
	城ノ内小学校区	広報龍ヶ崎「りゅうほー」	93.2%	メール配信サービス	37.9%	市公式ホームページ	32.0%

2. 自宅への災害時の備蓄

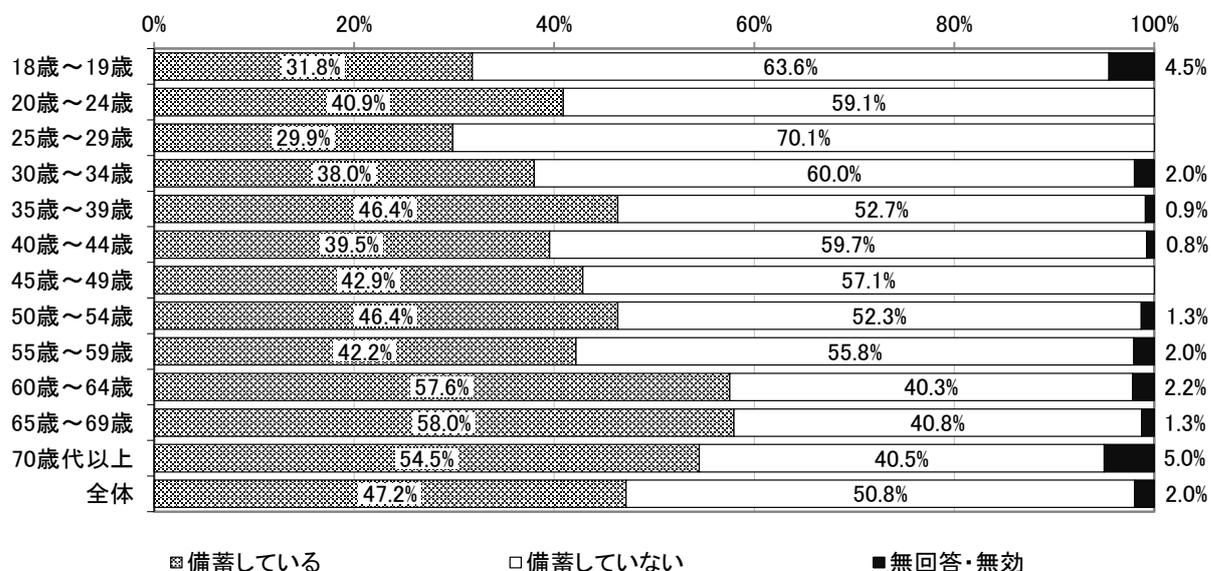
問29 災害の発生に備えて、3日分以上の水と食料を備蓄していますか。[SA]

災害に備えて、3日分以上の水と食料を備蓄しているかについては、「備蓄している」が47.2%、「備蓄していない」が50.8%となっている。
 前回調査に比べ、「備蓄している」では8.5ポイント高くなっている。
 年齢別にみると、「備蓄している」は、60歳～70歳台以上では5割を超えている。一方、「備蓄していない」は、25歳～29歳（70.1%）で最も高く、次いで18歳～19歳（63.6%）となっている。
 居住地域別にみると、「備蓄している」は、旧北文間小学校区（64.1%）で最も高く、次いで久保台小学校区（53.2%）となっている。
 居住形態別にみると、「備蓄している」は、借家（社宅・社員寮・学生寮など）（75.0%）で最も高く、次いで持家（マンション・共同住宅）（54.4%）となっている。なお、持家（一戸建て）では、「備蓄している」と「備蓄していない」が同程度となっている。
 家族構成別にみると、「備蓄していない」は、就学前の乳幼児、小学生、中学生、高校生がいる家族で他の家族構成と比べ高い割合となっている。

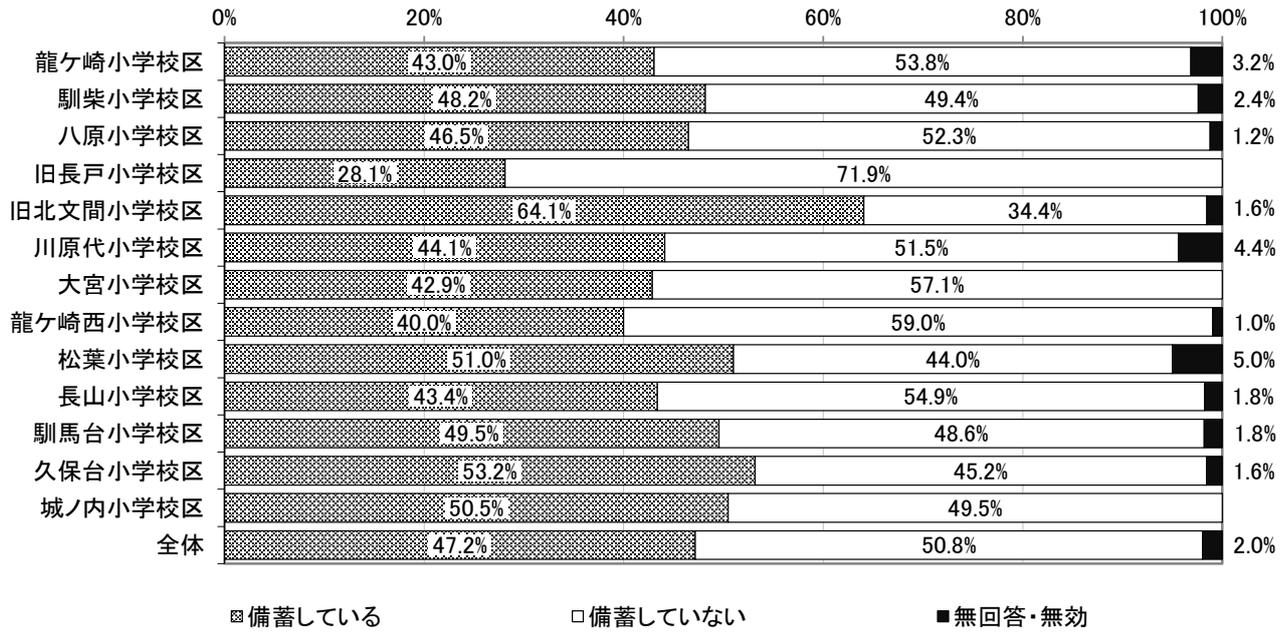
		票数	[今回] 令和3 年度	[前回] 平成30 年度
1	備蓄している	722	47.2%	38.7%
2	備蓄していない	778	50.8%	59.9%
	無回答・無効	30	2.0%	1.4%
	合計	1,530	100.0%	100.0%



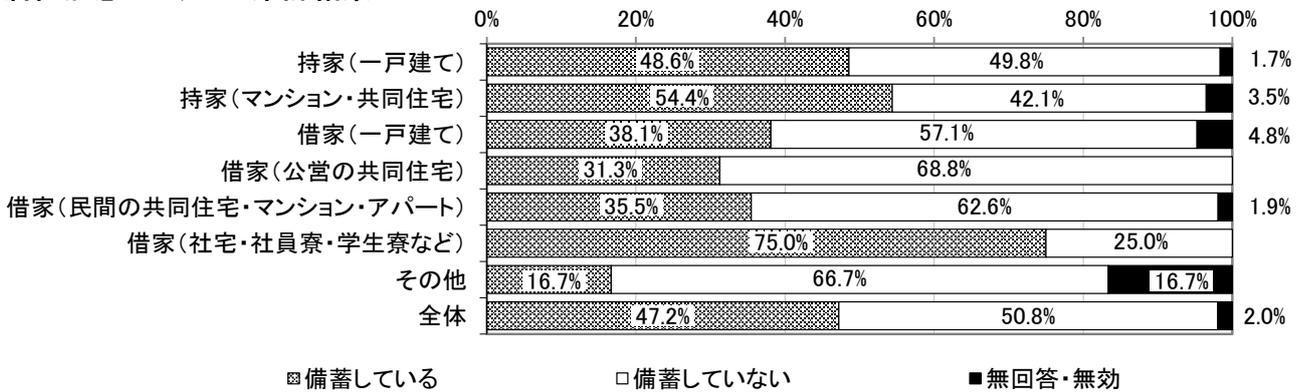
■年齢とのクロス集計結果



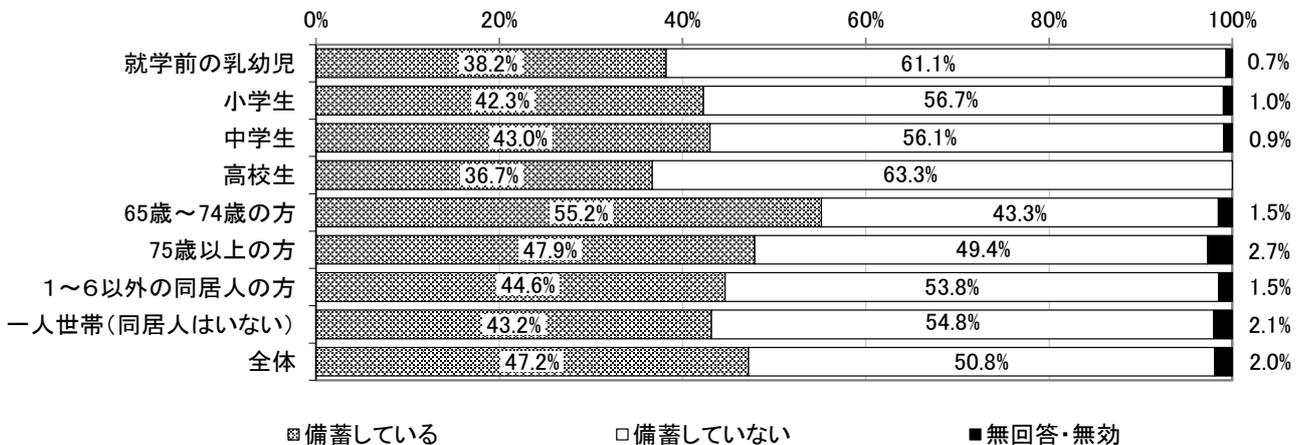
■居住地域とのクロス集計結果



■居住形態とのクロス集計結果



■家族構成とのクロス集計結果



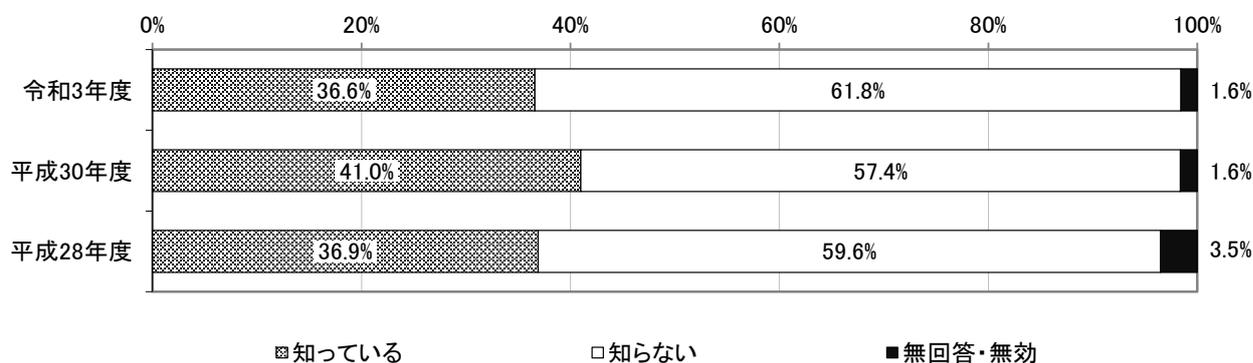
3. 流通経済大学との連携事業(龍・流連携事業)

問30 市が流通経済大学との連携事業(龍・流連携事業)を進めていることを知っていますか。[SA]

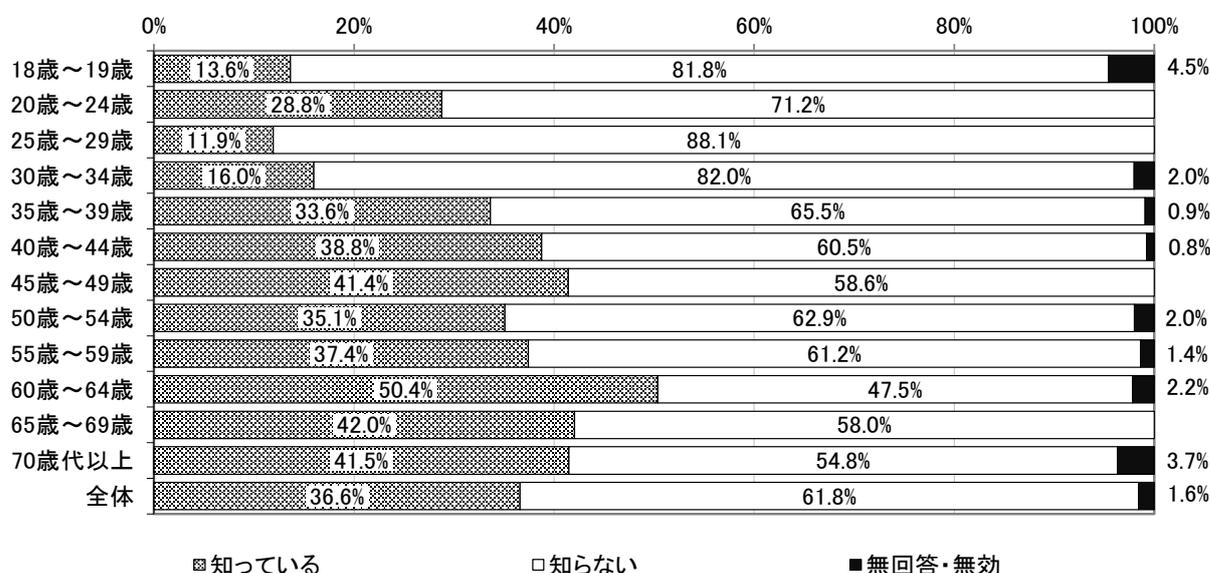
市が流通経済大学との連携事業(龍・流連携事業)を進めていることを知っているかについては、「知っている」が36.6%、「知らない」が61.8%となっている。
 年齢別にみると、「知らない」は、18歳～34歳では7割を超えており、他の年齢に比べ高くなっている。
 居住地域別にみると、「知っている」は、旧長戸小学校区(46.9%)が最も高くなっている。一方、「知らない」は、城ノ内小学校区(68.9%)が最も高くなっている。
 居住年数別にみると、「知らない」は、年数が浅くなるにつれ割合が高くなる傾向がある。
 家族構成別にみると、「知っている」は、小学生、中学生、高校生がいる家族で4割を超えており、他の家族構成と比べ高くなっている。

		票数	[今回] 令和3 年度	[前回] 平成30 年度	[前々回] 平成28 年度
1	知っている	560	36.6%	41.0%	36.9%
2	知らない	946	61.8%	57.4%	59.6%
	無回答・無効	24	1.6%	1.6%	3.5%
	合計	1,530	100.0%	100.0%	100.0%

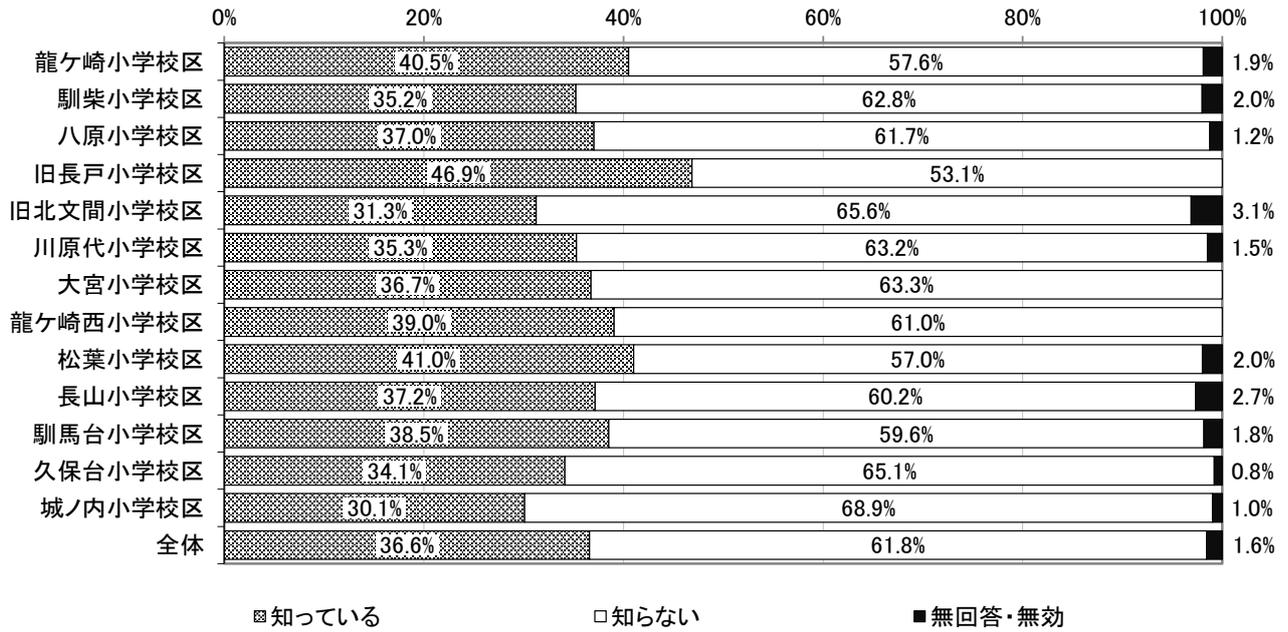
n= 1,530



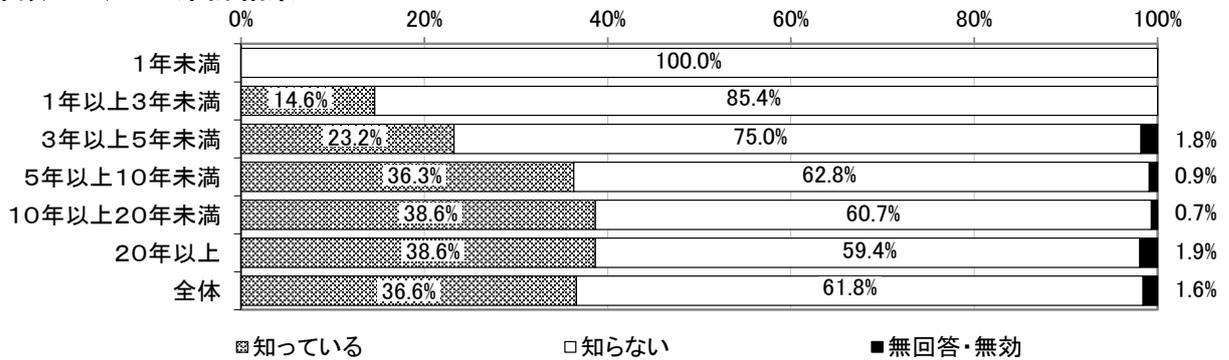
■年齢とのクロス集計結果



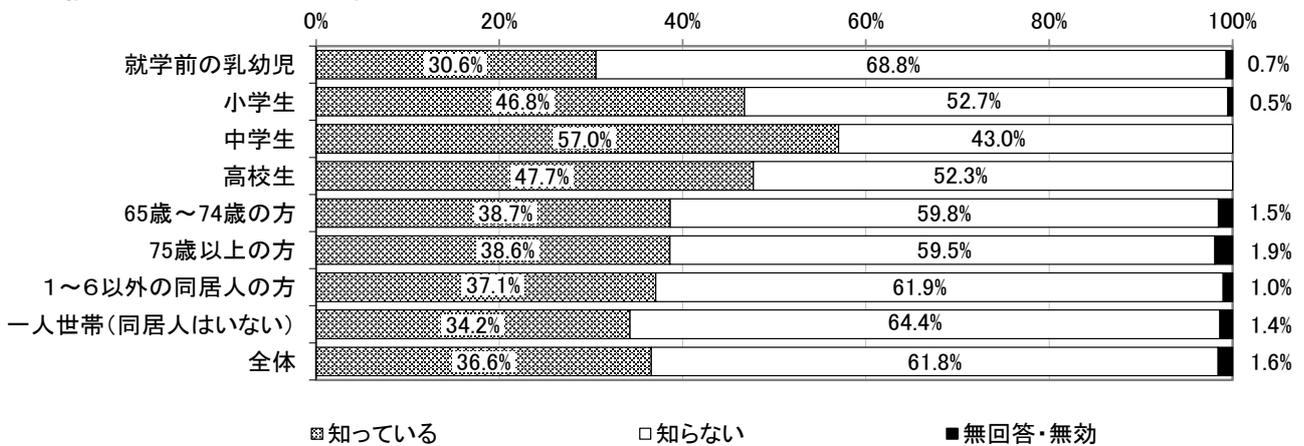
■居住地域とのクロス集計結果



■居住年数とのクロス集計結果



■家族構成とのクロス集計結果



問31 龍・流連携事業や流通経済大学のイベント、スポーツ応援、公開講座などに参加したことがありますか。[SA]

龍・流連携事業や流通経済大学のイベント、スポーツ応援、公開講座などへの参加については、「定期的に参加している」、「定期的ではないが参加したことがある」の合計値は13.9%、「関心はあるが参加したことはない」、「関心もなく、参加したことはない」の合計値は84.3%となっている。

年齢別にみると、「定期的に参加している」、「定期的ではないが参加したことがある」の合計値は、40歳～44歳(21.0%)で約2割となっており、他の年齢と比べ高くなっている。一方、「関心はあるが参加したことはない」、「関心もなく、参加したことはない」の合計値は、25歳～34歳が9割を超えており、他の年齢と比べ高くなっている。

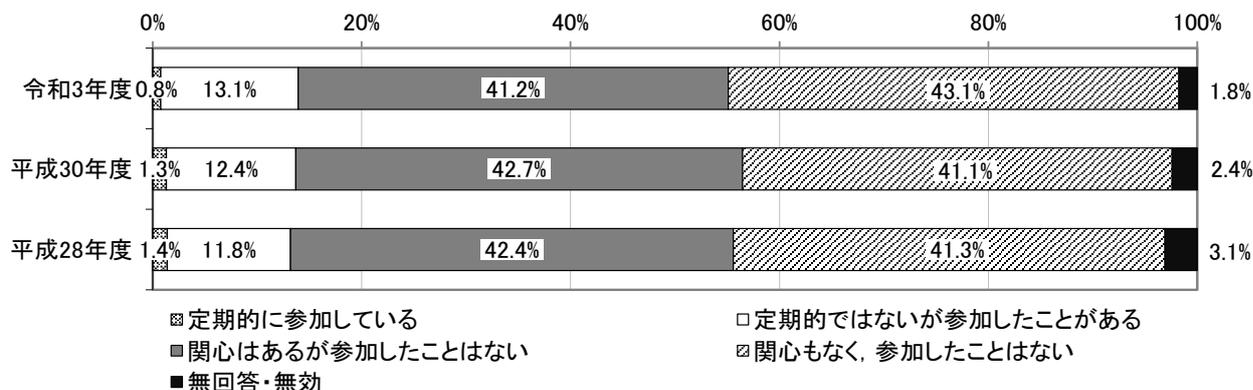
居住地域別にみると、「関心はあるが参加したことはない」では、松葉小学校(49.0%)が最も高く、次いで龍ヶ崎小学校区(48.7%)、久保台小学校区(47.6%)となっている。

居住年数別にみると、「関心はあるが参加したことはない」、「関心もなく、参加したことはない」の合計値は、1年未満～5年未満では9割を超えており、他の居住年数に比べ高くなっている。

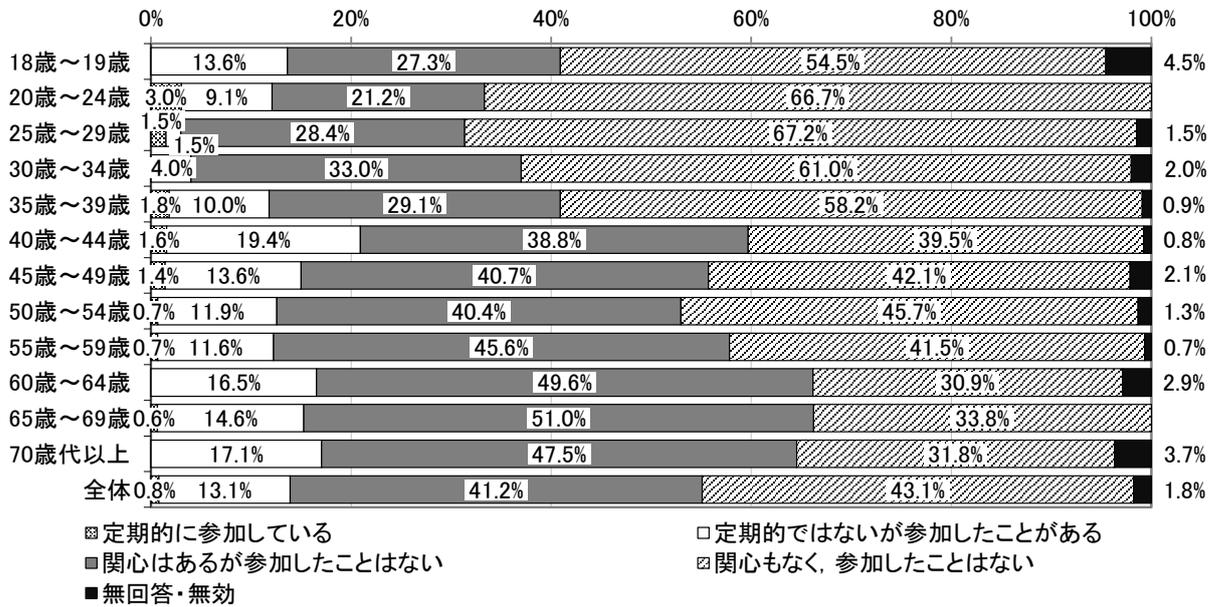
家族構成別にみると、「定期的に参加している」、「定期的ではないが参加したことがある」の合計値は、小学生、中学生、高校生がいる家族で2割を超えており、他の家族構成と比べ高くなっている。

		票数	[今回] 令和3 年度	[前回] 平成30 年度	[前々回] 平成28 年度
1	定期的に参加している	12	0.8%	1.3%	1.4%
2	定期的ではないが参加したことがある	201	13.1%	12.4%	11.8%
3	関心はあるが参加したことはない	630	41.2%	42.7%	42.4%
4	関心もなく、参加したことはない	660	43.1%	41.1%	41.3%
	無回答・無効	27	1.8%	2.4%	3.1%
	合計	1,530	100.0%	99.9%	100.0%

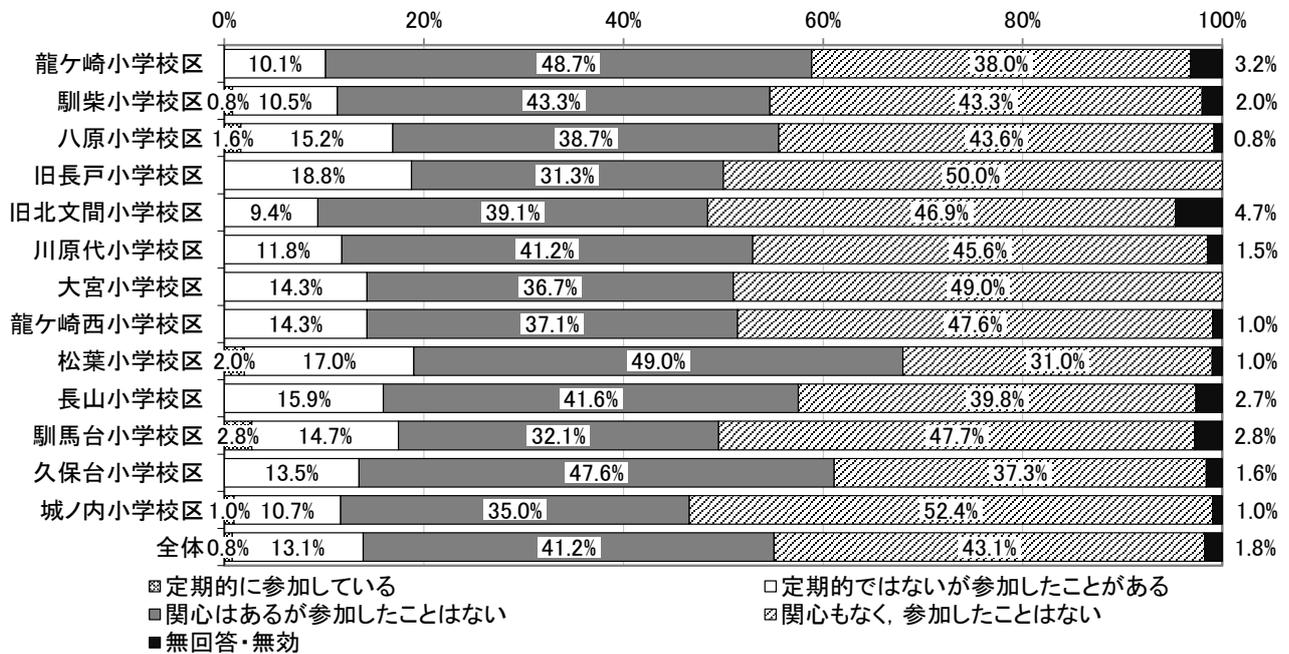
n= 1,530



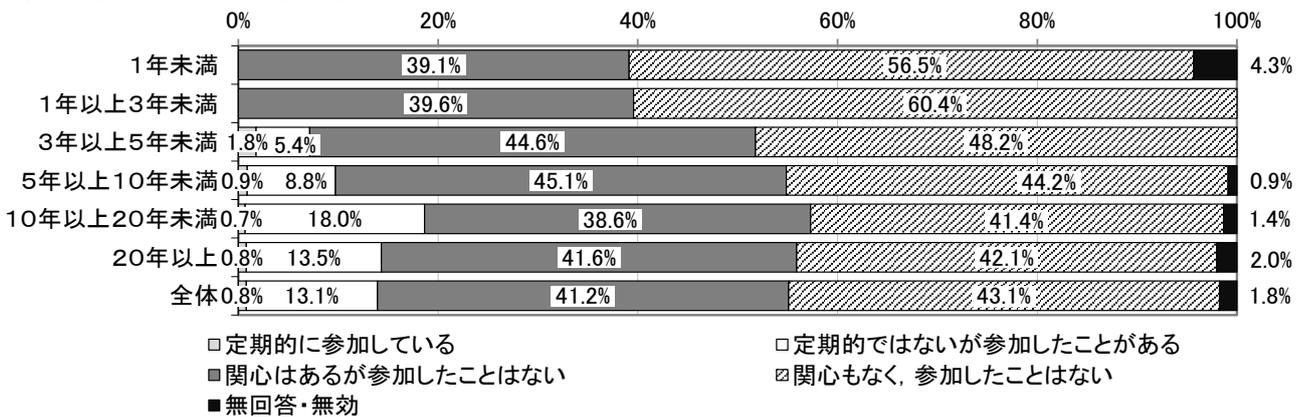
■年齢とのクロス集計結果



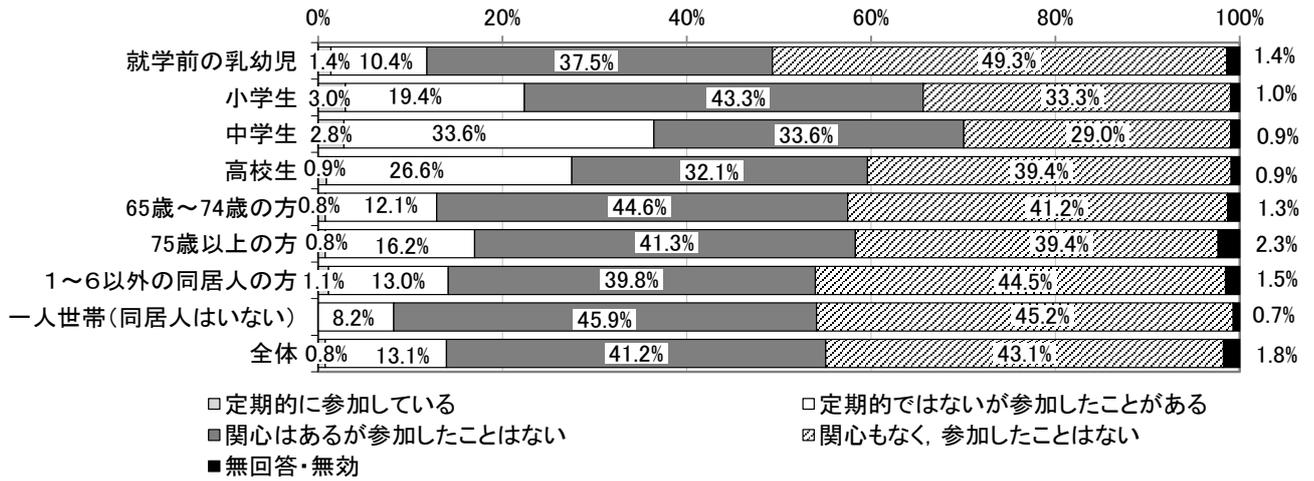
■居住地域とのクロス集計結果



■居住年数とのクロス集計結果



■ 家族構成とのクロス集計結果

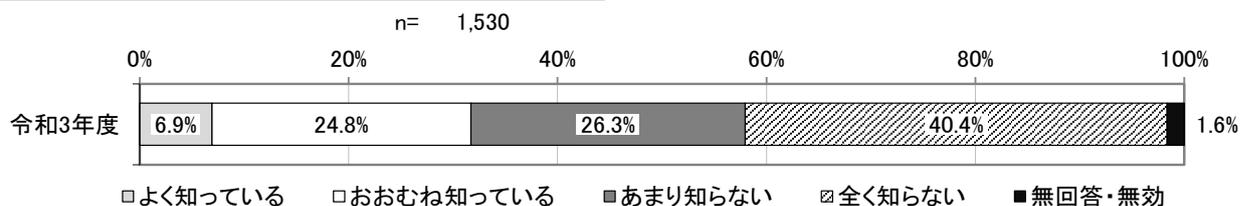


4. SDGs

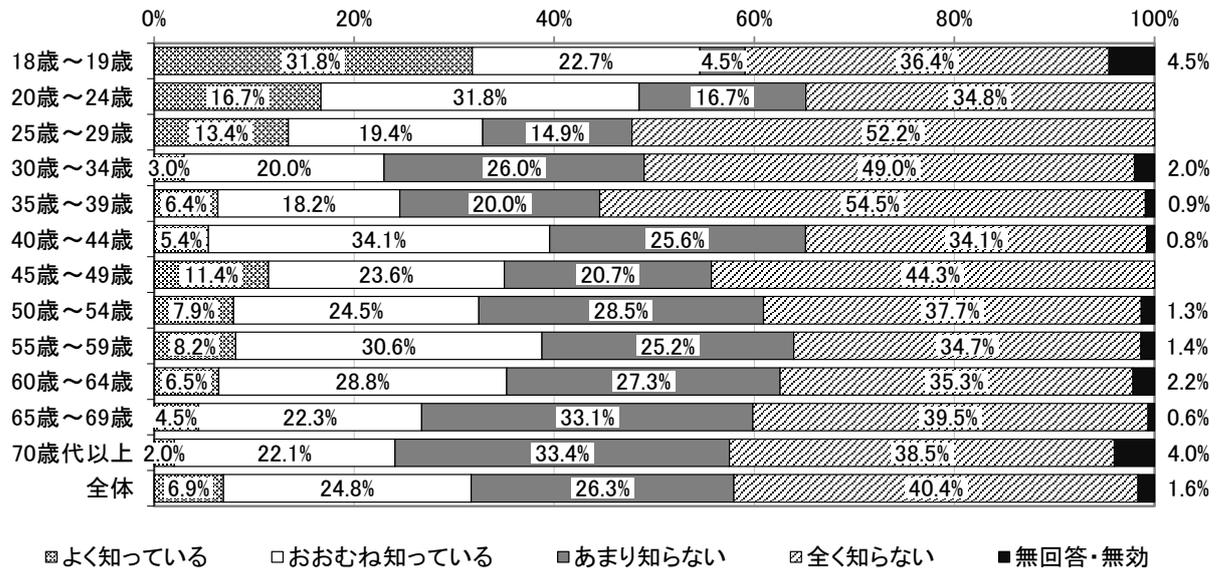
問32 SDGsについて、どのようなことか内容を知っていますか。[SA]

SDGsの内容については、「よく知っている」、「おおむね知っている」の合計値は31.7%、「あまり知らない」、「全く知らない」の合計値は66.7%となっている。
 年齢別にみると、「よく知っている」、「おおむね知っている」の合計値は、18歳～19歳(54.5%)が最も高く、次いで20歳～24歳(48.5%)が高くなっている。一方、30歳～39歳、65歳～70歳代以上では、「あまり知らない」、「全く知らない」の合計値は7割を超えている。
 就労状況別にみると、「あまり知らない」、「全く知らない」の合計値は、パート・アルバイト(74.0%)、自営業(72.4%)で7割を超え、他の就労状況と比べ高くなっている。

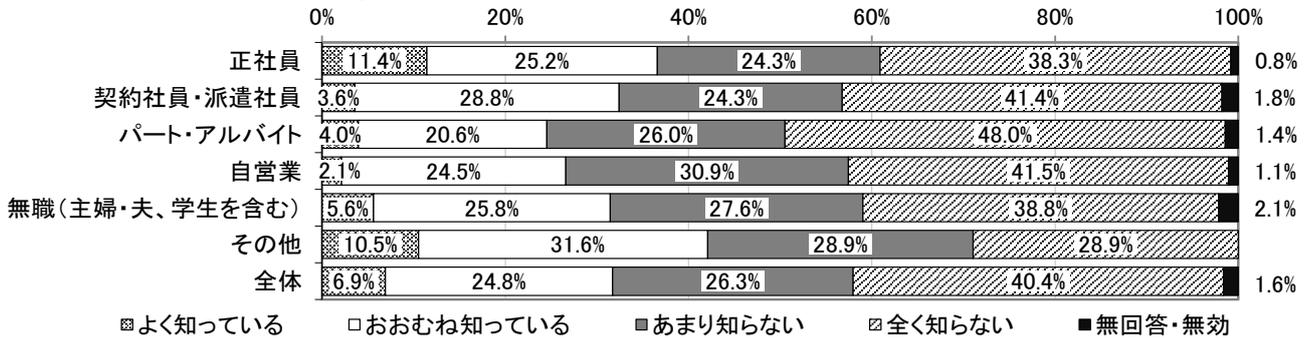
		票数	今回
1	よく知っている	106	6.9%
2	おおむね知っている	379	24.8%
3	あまり知らない	402	26.3%
4	全く知らない	618	40.4%
	無回答・無効	25	1.6%
	合計	1,530	100.0%



■年齢とのクロス集計結果



■就労状況とのクロス集計結果



問33 SDGsを意識しながら生活や行動をしていますか。[SA]

SDGsを意識した生活や行動については、「いつも意識している」、「まれに意識している」の合計値は31.5%、「ほとんど意識しない」は63.6%となっている。

年齢別にみると、「いつも意識している」、「まれに意識している」の合計値は、18歳～19歳(54.5%)が最も高くなっている。一方、「ほとんど意識しない」は、30歳～39歳で7割を超えており、他の年齢と比べ高くなっている。

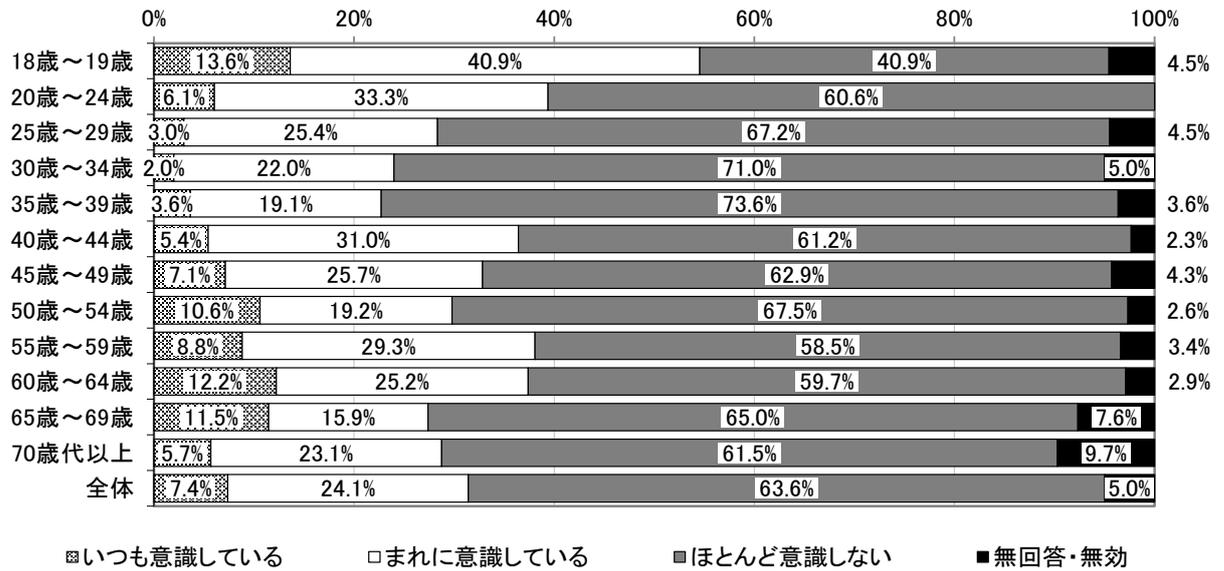
家族構成別にみると、「ほとんど意識しない」は、一人世帯(同居人はいない)で7割を超えており、他の家族構成と比べ高くなっている。

就労状況別にみると、「ほとんど意識しない」は、契約社員・派遣社員(69.4%)が最も高く、次いでパート・アルバイト(69.0%)となっている。

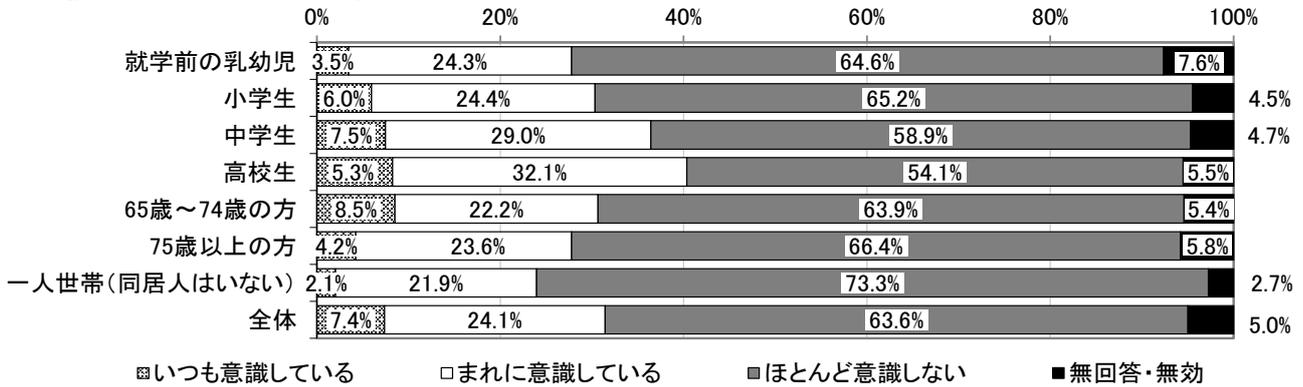
		票数	今回
1	いつも意識している	113	7.4%
2	まれに意識している	368	24.1%
3	ほとんど意識しない	973	63.6%
	無回答・無効	76	5.0%
	合計	1,530	100.0%



■年齢とのクロス集計結果



■家族構成とのクロス集計結果



■就労状況とのクロス集計結果

